



### 睡眠状況に合わせた 的確なケアを実現 眠りスキャン

もみじ館では「眠りスキャン」を導入しています。そもそも眠りスキャンとは、ベッドに設置したセンサーにより体動(呼吸、心拍など)を測定し、睡眠状態を把握するシステムです。これにより「入居者の生活リズムの改善や健康状態の把握が可能となります」。

例えば、眠りスキャンのモニター上で起きた(または眠りの浅くなった)ことが分かる為、そのタイミングで介助に入ります。そうすることで夜間でも利用者様を無理に起こすことなく、睡眠の質向上を図ることができます。その他、呼吸状態や心拍数が確認できることで異常の早期発見に繋がる等、眠りスキャンには様々なメリットがあります！



# Care Skill

もみじ館のケアの技術と想い

### 安心・安全に 食事を楽しんでもらう HACCP [ハサップ]



もみじ館の食事は、HACCPを取り入れた衛生管理をしています。HACCPとは、ひとつひとつの作業をリスト化して、食中毒と異物混入を防ぐために管理基準を決める事です。作業内容の統一化と、食事の加熱・消毒・保管を全員がしっかりと管理することで、衛生的で安全な食事を提供することが出来ています。

また、定期的な外部に菌検査を依頼しており、食事の安全性をより明確なものにしています。もみじ館では、皆様が安心して食事を楽しんで頂けるよう、これからも徹底した管理を行なって参ります。

### ユマニチュードの哲学 やさしさを伝えるケア

3年前よりもみじ館では、「ユマニチュード」というフランスの技術を使用し、利用者様との関係性を高め、ケアを届ける技術を学んでいます。『見る』『話す』『触れる』を意識することで「あなたを大切に想っています」というメッセージを届けます。

毎朝、どの技術を使うか目標を立て行動することで、職員の意識を高めています。その効果は少しずつ開花し、利用者様との笑顔の輪が広がっています。



### 人と人を笑顔でつなげる ウェルビーイング委員会

ウェルビーイングは「身体的・精神的・社会的に健康な状態」や「持続的な幸せ」という意味です。もみじ館を利用していらっしゃる方も働く職員も、「もみじ館で幸せだなあ」と感じられる。そんな状態を促進するのが委員会の役割です。

心身を整えて元気に働けるような企画。笑顔で繋がる関係性を作れるような取り組み。様々なチャレンジを楽しみながら実行しています！

【取り組みの一部】

- ・幸福度調査 ・笑顔企画
- ・瞑想週間 ・誕生日カード
- ・うさぎ飼育(みみ&ぼぼ)
- ・スマイルショット
- ・メンタルヘルスマネジメント検定
- ・ポジティブ月間 ・感謝の嵐



### 触れる



『触れる』ことも相手大切に思っていることを伝えるための技術を用います。具体的には、「広い面積で触れる」、「つかまない」、「ゆっくりと手を動かす」ことなどによって優しさを伝えることができます。できるだけ純感な場所(たとえば背中、肩など)から触れ始めます。

### 話す



『話す』ときも仕事のための「話す」ことだけでなく、相手のことを大切に思っていると伝えるための技術を用います。低めの声は「安定した関係」を、大きすぎない声は「穏やかな状況」を、前向きな言葉を選ぶことで「心地よい状態」を実現することができます。

### 見る



『見る』ことで伝える、言葉によらないメッセージ。たとえば同じ目の高さで見ること「平等な存在であること」、近くから見ることで「親しい関係であること」、正面から見ることで「相手に対して正直であること」を相手に伝えています。